

森尚水さんを偲ぶ

中島 暁

2021年3月26日午後9時50分、46年来の友人であり、同志であった森尚水さんが夢をみることもない眠りにつきました。満74歳でした。自宅約1カ月前から退院していたので、孫2人と子どもたち、妻に囲まれて苦しむことなく逝きました。

私は森教育実践(教育運動実践を含)はギネスに残ると思っています。その実践の

いくつかを紹介することです。森さんを偲びたいと思います。

③『うらどっこ』の四コママンガ(もちろん子どもが毎日描いた)を本として10巻まで発行した。この本は人気があった。そして『うらどっこ』1000号突破記念にアニメを子どもたちも参加して作った。これも記録である。

④「朝倉ゼミナール」の活動。「すべての子どもを希望する高校へ！」と地域で支え合いながらゼミナールを開き、低学力の子どもたちを希望する高校へ入学させ続けた30年間の実践(まだまだありますが、森実践を高知県民主教育研究所が分析・検討しようと言ってくれますので期待しています)。

このような森実践がなぜ生まれたのでしょうか。そのひとつのカギに、森さん自身が学校に行くことができないほどの貧困の中で育ちながらも小・中・高・大学の時に出会った先生方の優しさや様々な(金銭面も含め)援助で学校に通うことができた教師になれたという体験があります。

その時出会った先生方は高知の教育運動に参加していた教師たちでした。高知の教育運動(勤評、臨教連など)の中で森さんが育てられ、育ち、森実践が生まれたと私は思います。

もちろん森さんが長い間かけずり回ることができたのは妻・登子さんの支えがあったからこそです。「オレの体は病気のデパートだよ」と言いながら、睡眠時間を削り、毎日の教材研究、毎日の学級通信、ゼミ活動、教職員組合活動、県内外への研究会の参加等々体は悲鳴を上げ続けていたことでしょう。

「教師はスーパーマンでなくて、パーマンでいいのです。ただ、より誠実に自分を丸出しし、ユーモア、誠実、実践上の工夫、地域との交流……教師(人間)にとって必要なものを少しずつ見つけ」実践していくことが大事と言っていた森さん。たくさん宝物を私たちに与え、残してくれました。ありがとうございます。安らかに眠りください。

—深い眠りの顔は、悟った哲学者のようであった(なかしまあかつき・元小学校教師)



①教師生活30年、「朝倉ゼミナール」活動を含む地域学習会活動36年の実践をすべて記録し(学級通信などで)出版した。

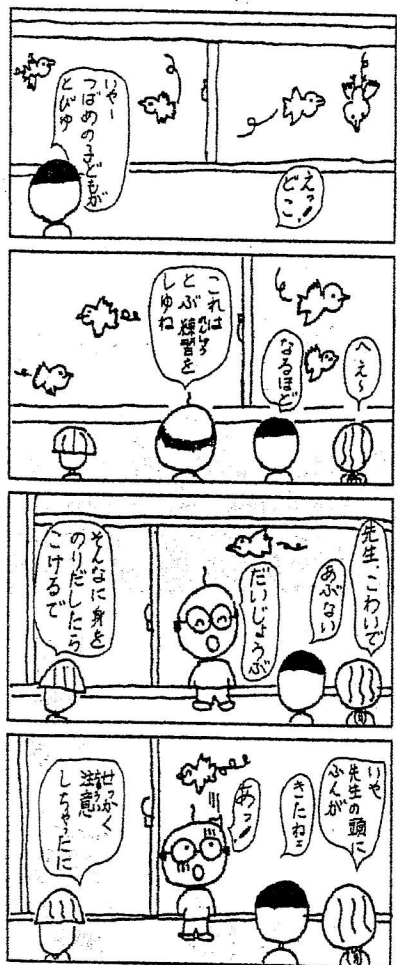
②『うらどっこ』という日刊地域新聞を、子どもたちだけの力で手作りして発行し(いくつものクラスを経て)2020年、毎日地域に配達した

③『うらどっこ』の四コママンガ(もちろん子どもが毎日描いた)を本として10巻まで発行した。この本は人気があった。そして『うらどっこ』1000号突破記念にアニメを子どもたちも参加して作った。これも記録である。

④「朝倉ゼミナール」の活動。「すべての子どもを希望する高校へ！」と地域で支え合いながらゼミナールを開き、低学力の子どもたちを希望する高校へ入学させ続けた30年間の実践(まだまだありますが、森実践を高知県民主教育研究所が分析・検討しようと言ってくれますので期待しています)。

このような森実践がなぜ生まれたのでしょうか。そのひとつのカギに、森さん自身が学校に行くことができないほどの貧困の中で育ちながらも小・中・高・大学の時に出会った先生方の優しさや様々な(金銭面も含め)援助で学校に通うことができた教師になれたという体験があります。

その時出会った先生方は高知の教育運動に参加していた教師たちでした。高知の教育運動(勤評、臨教連など)の中で森さんが育てられ、育ち、森実践が生まれたと私は思います。



『うらどっこ』に子どもが描いた四コママンガ

私は思います。

「教師はスーパーマンでなくて、パーマンでいいのです。ただ、より誠実に自分を丸出しし、ユーモア、誠実、実践上の工夫、地域との交流……教師(人間)にとって必要なものを少しずつ見つけ」実践していくことが大事と言っていた森さん。たくさん宝物を私たちに与え、残してくれました。ありがとうございます。安らかに眠りください。

—深い眠りの顔は、悟った哲学者のようであった(なかしまあかつき・元小学校教師)